

# シニア松塚将棋クラブ NO231

令和5年2月23日(木) 1時30分～4時

次の例会は3月2日(木)、3月16日(木)



様

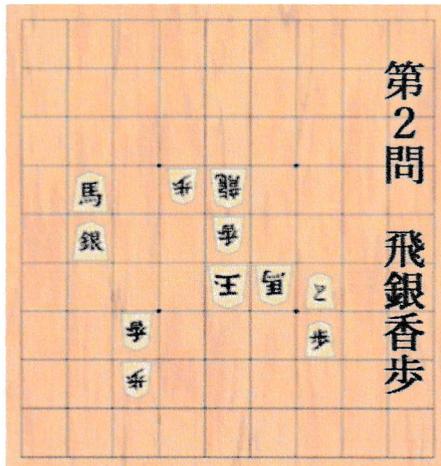
3月9日(木)は休みます

3月も例会が変則になります。注意してください。

## 詰将棋問題 (3問正解を2点、2問正解を1点に)



第1問  
金



第2問  
飛銀香歩



第3問  
角銀

詰将棋正解者番付			
1	秋山	八段	24
2	設楽	竜王・八段	21
3	青田	八段	5
4	玉置	六段	21
5	柳原	二冠・五段	29
6	花田	六段	11
7	森田	二段	7
8	中	初段	15
9	上野	初段	4
10	長谷		1

- 先日、イズミヤで買い物しての帰り梅が枝の煉瓦の道で、躓きボテッとだらしなく転倒してしまいました。それを見て自転車の青年が、慌てておてきて「大丈夫ですか」と起こしてくれました。テレビでダンスばかりしてる軽い青年しか知らない自分は、実際はこんなに優しく親切な青年もいるんだと(単純?)、感心し見直しました。幸いケガは右の膝と肘を擦りむいただけですみ、爽やかな気持ちで帰宅しました。
- NO230 詰将棋問題は6名の方から解答が寄せられ柳原二冠、設楽竜王、中初段、花田六段、青田八段が3問とも正解。上野初段が2問正解でした。

NO230 詰将棋解答

第1問	▲2四竜△3六玉 ▲3七歩△同玉 ▲2六角 △同と ▲3八金△3六玉 ▲4五角
第2問	▲3二銀不成△1四玉▲2三銀不成△同玉 ▲3二馬 △同玉▲3三金△4一玉▲4二金打
第3問	▲3一飛成△同玉 ▲3二銀打△2二玉 ▲2三銀不成△2一玉▲4三角 △3一玉 ▲3二銀成

### 木村義雄 (十四世名人) 昭和・平成の大棋士

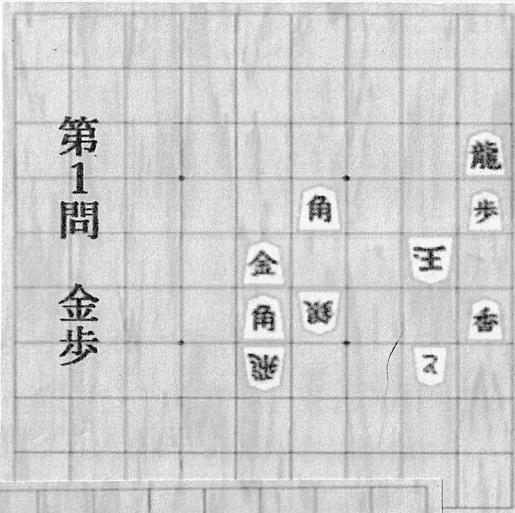
木村義雄は、推薦による終生名人ではなく、初めての實力制の名人になったことで知られますが、その強さは図抜けていました。大正15年、22歳という異例の若さで八段に昇段。その後、他の先輩八段全員を「半香の手合い」に指し込むという快挙を成し遂げました。そしてついに昭和12年、阪田三吉を京都南禅寺で破ったあと、花田長太郎を破って第1期名人になりました(就位式は翌年)。その後、挑戦者のない年2期と、塚田正夫に奪われた2期を挟んで、通算8期名人位についています。

木村名人の強さは、「名人八段勝抜戦」において、半香の手合いで九人抜きをした記録からも、群を抜いていたことが分かります。「打倒木村」は台頭する若手棋士の合言葉でした。

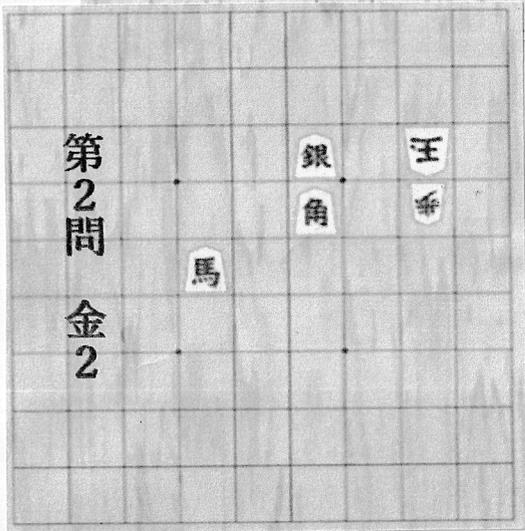
NO230

設楽竜王の詰将棋の解答です。

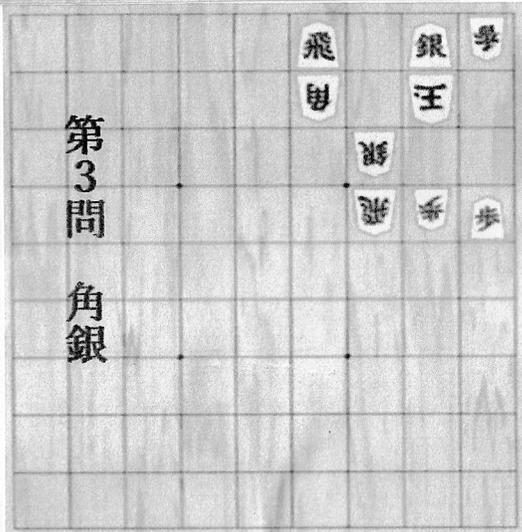
参考にしてください。



第1問  
金歩



第2問  
金2



第3問  
角銀

大沼様

設楽

(No. 230)の解答です。

(第一問) ▲2四竜 △3六玉<sup>\*①</sup> ▲3七歩 △同玉<sup>\*②</sup> ▲2六角  
△同と<sup>\*③</sup> ▲3八金 △3六玉 ▲4五角 (まで9手詰)

\*① △3六玉のところ △2四同玉は ▲1五金で、又  
△1六玉は ▲1五金で詰む。

\*② △3七同玉のところ、△同とは ▲2六竜で詰む。  
又 △3七同銀は ▲3五竜で、△3七同飛は ▲2六金  
△同と ▲同竜の早詰 (駒余り)

\*③ △同とのところ △2八玉は ▲2九金の早詰

(第二問) ▲3二銀不成 △1四玉<sup>\*①</sup> ▲2三銀不成 △同玉  
▲3二馬 △同玉 ▲3三金 △4一玉 ▲4二金打 までの  
9手詰

\*① △1三玉には ▲2三銀不成とし、以下 △1四玉には  
▲1三金 △2五玉 ▲2六金 △3四玉 ▲3五金までの  
9手詰(同手順、これも正解)。△2三同玉には  
▲3二馬 以下の詰。 作意は銀の不成2回の手順と  
思う

(第三問) ▲3一飛不成 △同玉<sup>\*①</sup> ▲3二銀 △2二玉 ▲2三銀不成  
△2一玉<sup>\*②</sup> ▲4三角 △3一玉 ▲3二角成 (まで9手詰)

\*① △同角は ▲2三銀 △同玉 ▲4一角 △2二玉 ▲3二角成  
まで

\*② △2三同玉は ▲4一角 △2二玉 ▲3二角成まで(9手)  
(この手順も正解)